

「平成30年度 東北森林管理局保護林管理委員会
朝日山地森林生態系保護地域部会」(H30. 5. 30)

朝日山地森林生態系保護地域管理委員会を再編 「東北森林管理局保護林管理委員会 朝日山地森林生態系保護地域部会」として出発

平成30年度 朝日山地森林生態系保護地域部会

5月30日(水)山形市の山形県自治会館において、平成30年度の「東北森林管理局保護林管理委員会 朝日山地森林生態系保護地域部会」を開催しました。

添谷計画課長の挨拶の後、議事に先立ち事務局より、朝日山地森林生態系保護地域部会が設置された経緯について説明があり、続いて山形大学農学部菊池准教授から、東北森林管理局保護林管理委員会の概要報告を受け議事へと進みました。

菊池准教授を座長に選任し「森林作り・森林再生は関係各位の参画と情報交換、またそれに基づく意思の疎通が重要であると認識しており、本会議がその場となるよう、きたんのない意見をお願いしたい」と挨拶がありました。



添谷計画課長の挨拶

また、報告事項では、ニホンジカの確認情報として、県よりニホンジカの第2種特定鳥獣の管理計画策定に向けた今後の取り組み方、管理局より早池峰山周辺や白神山地での目撃情報の増加など取り組みの強化が報告されました。

その他の事項として、環境省羽黒自然保護官澤野委員より、本年度の合同保全作業の予定や、山形県山岳連盟の高取委員より、県からの受託で監修した「やまがた百名山」の紹介なども報告されました。



挨拶する菊池座長

議事に入り審議事項では、今後のモニタリングの手法について、今年1年かけて吟味し来年度以降へつなげる方向性や、大看板の標示方法に一工夫してもらおうなどの意見が出され、今後の課題とされました。



会議風景

林野庁 東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター